

第1回 豊橋市行財政改革プラン外部検証委員会

1 開催日時 令和4年7月7日（木）午後4時から午後5時まで

2 開催場所 Web会議

3 出席者 委員5名

石原委員長、後副委員長、酒井委員、塩瀬委員、高津委員
豊橋市11名

財務部 朽名財務部長

財政課 芳賀課長、大竹課長補佐、小酒井主査、魚住主査

総務部 加藤総務部長

行政課 小林課長、渡部課長補佐、鈴木主査、土屋、高橋

4 会議概要 以下のとおり

発言者	要旨
事務局 (行政課長)	<p>定刻となりましたので、ただ今から、第1回豊橋市行財政改革プラン外部検証委員会を開催いたします。委員の皆様にはお忙しい中ご出席いただき、御礼申し上げます。</p> <p>委員長が決まるまで本日の進行は、私、行政課長の小林が務めさせていただきます。</p> <p>本外部検証委員会は、外部検証委員会設置要綱に基づき設置される委員会です。</p> <p>本委員会は、「附属機関等の設置及び運営の基準に関する要綱」第9条第3号の規定により、議事録をホームページ等で公開したいと考えておりますので、ご了承ください。</p> <p>今年度初めての開催で委員の交代もありましたので、委員より一言、自己紹介をお願いいたします。</p>
各委員	《各委員自己紹介》
事務局 (行政課長)	<p>続きまして、事務局職員を紹介させていただきます。</p> <p>《事務局紹介》</p> <p>それでは、事務局を代表し、総務部長の加藤よりご挨拶を申し上げます。</p>
総務部長	<p>外部検証委員の皆様におかれましては、ご多忙の中ご出席いただき、ありがとうございます。本委員会は、「豊橋市行財政改革プラン2021-2025」の進捗管理にあたり、外部の視点からの評価を実施することを目的として設置さ</p>

発言者	要 旨
	<p>れている委員会です。「豊橋市行財政改革プラン2021－2025」は令和3年度から令和7年度までを計画期間としたプランです。令和3年度はプランの1年目として、「持続可能でスマートな行財政運営の実現」に向けて取組を進めました。令和3年度を取組に対し、委員の皆様より様々な見地から評価検証をいただき、より効果的な行財政改革を推進していきたいと思えます。委員の皆様の精力的なご議論をお願い申し上げまして、挨拶とさせていただきます。</p>
事務局 (行政課長)	<p>次に、次第2 委員長・副委員長の選任についてです。設置要綱第5条第2項にありますとおり、委員の互選により委員長を選出いただきたいと思えます。どなたかご発言をお願いします。</p>
酒井委員	<p>これまでの行財政改革プランの評価や行財政改革プラン2021－2025の策定に至るまで、委員長として経験豊富な石原俊彦委員をお願いしてはと思えますが、いかがでしょうか。</p>
事務局 (行政課長)	<p>酒井委員から石原委員を推薦というご発言がありました。が、いかがでしょうか。</p>
高津委員	<p>石原先生は非常に見識が高く、委員皆様のことをバランスよく考えていただいております。委員長にふさわしいと思えます。</p>
	《異議なし》
事務局 (行政課長)	<p>ご異議がないようですので、委員長は石原俊彦委員に決定します。では、ここからの進行を石原委員長にお願いしたいと思います。</p>
石原委員長	<p>御選任いただきありがとうございます。それでは設置要綱第5条第2項にありますように、副委員長は委員長の指名によることとなっております。私としては、地元愛知大学で教鞭をとられ、地方自治に深い識見を有する、後房雄委員を副委員長に指名させていただきたいと思えますがいかがでしょうか。</p>
	《異議なし》
石原委員長	<p>それでは後委員に副委員長をお願いしたいと存じます。さて、本日の議題について確認いたします。まず、事務局より次第3 行財政改革プラン2021－2</p>

発言者	要 旨
	<p>025 報告書（案）の説明をしていただきます。その後、意見交換をし、第2回外部検証委員会におけるヒアリング対象課の選定を行う、という流れでよろしいでしょうか。</p>
<p>事務局 （行政課長）</p>	<p>はい、そのような流れで進めていただきたいと思います。次回の委員会におきまして、取組の担当課を対象に、ヒアリングを実施しますので、本日は、そのヒアリングを実施する課を選定していただければと考えております。</p> <p>では、行財政改革プラン2021－2025 報告書（案）について事務局より説明をいたします。</p>
<p>事務局 （財政課主査、 行政課主査）</p>	<p>《行財政改革プラン2021－2025 報告書(案)を説明》</p>
<p>石原委員長</p>	<p>最終的には、外部評価部分について、意見を提出するということですね。スケジュールはどのような流れでしょうか。</p>
<p>事務局 （行政課長）</p>	<p>委員の皆様には、第2回の委員会終了後に、ご意見をいただきたいと思いますと考えています。そして、第3回において、いただいたご意見を反映させた報告書（案）をご覧いただきたいと思います。</p>
<p>石原委員長</p>	<p>それでは、次第4 意見交換に移ります。</p>
<p>高津委員</p>	<p>K P I（重要業績評価指標）について、財政調整基金残高は令和3年度に既に目標を達成しています。今後もこのまま財政調整基金残高をK P Iとしていく予定でしょうか。</p> <p>また、D X（デジタルトランスフォーメーション）の推進については、チャットツールなどを使用して市役所内部で情報共有を行ったり、迅速なやり取りをしたりするといったことが核心であると感じます。手続の簡便化やネットワーク基盤の整備ももちろんですが、全庁展開及びD X推進の統括調整といった部局横断の取組について伺いたいと思います。</p>
<p>事務局 （財政課長）</p>	<p>財政調整基金残高について、令和3年度は当初、27億円取崩しを行う予定としていましたが、市税、交付税及び新型コロナウイルス臨時交付金といった予定外の歳入の増加により、取崩しの必要がなくなるという状況変化がありました。その結果、基金残高が76億7,370円となり、目標を達成することとなりました。</p> <p>しかしながら、今後、大きな事業が予定されていますので、</p>

発言者	要 旨
	<p>状況変化に対応しつつ、最終的に令和7年度末の時点で目標値を達成できるようにするとともに、中間見直しの検討もしていきます。</p>
石原委員長	<p>病院事業も同様に、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて全国的に黒字となったところが多いようですので、財政調整基金もよい指標になるのではないかと思います。</p> <p>もう一つ、DXの推進に関しては、プラン策定時には想定されていなかったデジタル田園都市国家構想が閣議決定されています。地方自治体のDXは、デジタル化に焦点が集中しがちですが、市役所内部だけではなく、デジタル化を通して田園都市、地方創生、地域の活性化をどう進めるかということも論点かと思えます。DXの質問に対する回答は、次回の宿題としましょう。</p>
後副委員長	<p>予算編成にあたってのロジックモデルの活用は、先駆的な試みです。現在どのようなモデルを作り、活用しているのか聞いてみたいです。</p> <p>また、リモートワークについて、新型コロナウイルス感染症収束後の拡大への取組があれば教えて欲しいです。</p> <p>業務記述書の作成は、残業の削減や有給休暇の取得促進といった働き方改革とあわせることによって、職場風土を変えていく取組だと思います。業務引継書や業務記述書と働き方改革について、どのような課題に直面しているのか聞いてみたいです。</p> <p>最後に、行財政改革プランは総合計画を下支えするためのプランという説明がありましたが、総合計画と行財政改革プランそれぞれの取組の成果が両立しているかどうか意識する必要があります。総合計画の成果があがらない中で、仮に財政健全化や行政運営の効率化が達成できてもそれは行財政改革が成功したとはいえないと考えます。総合計画の成果と兼ね合わせて検討する必要があるのではないのでしょうか。</p>
石原委員長	<p>後委員の今のご意見は、一点目としてロジックモデルを活用した予算編成について、二点目として業務記述書及びリモートワークこれらを相互に関連付けた取組としてのヒアリング、三点目として総合計画と行財政改革の関係について両</p>

発言者	要 旨
	立することに意味があるという付言を外部評価に加えるということですね。
酒井委員	<p>行政運営のK P Iを達成するためには、R P A（ロボティック・プロセス・オートメーション）の活用などのD Xの推進が欠かせませんが、「ネットワーク基盤の整備進捗率」が指標になっているのは残念です。ヒアリングでは、R P Aや行政手続のオンライン化などについて聞いてみたいです。</p> <p>余裕があれば、病院の会計について、黒字額の変動幅が大きいので、財政的な面から聞きたいと思います。</p>
塩瀬委員	<p>先ほどの財政課長のK P Iである財政調整基金残高についてのご説明の中で、今後、大型事業が予定されているとのことですが、どのような事業で、どれくらい予算が必要なのか聞いてみたいです。</p> <p>また、施策名「特別会計の健全経営」の公共駐車場事業においてまちなか図書館について触れていますが、来場者の見込みと結果を聞いてみたいと思います。取組状況報告書の記載内容では、推移が分かりづらいと感じました。</p>
石原委員長	<p>それでは、次第5 第2回外部検証委員会におけるヒアリング対象課の選定です。</p> <p>1件目はD Xの推進について、市役所内部での全庁展開及びD X推進の統括調整といった部局横断の取組はどのようなことを考えているか、また、R P Aや行政手続のオンライン化などの取組内容や進捗についてとします。</p> <p>2件目は、予算編成にあたって、どのようにロジックモデルを作成し、活用しているかについてとします。</p> <p>塩瀬委員と酒井委員から特別会計についてのご意見がありました。塩瀬委員からは公共駐車場、酒井委員からは病院について指摘がありましたが、今回は塩瀬委員の強い希望もあり、3件目は、公共駐車場事業基金残高における令和3年度当初の見込と結果について、また、公共駐車場事業におけるまちなか図書館の当初の来館者見込と結果についてとします。</p> <p>4件目は、財政調整基金残高は、令和3年度に既に目標を達成していますが、目標の見直しを含めた今後の見通しについてとします。</p>

発言者	要 旨
	最後に、総合計画と行財政改革プランの成果の両立についても、担当課から説明をお願いします。
事務局 (行政課長)	活発な議論ありがとうございました。 次回の日程は、7月19日(火)午後3時からです。開催方法は、今回と同じくZOOMを予定しておりますのでよろしくお願ひいたします。
事務局 (財政課長)	公共駐車場について、まちなか図書館が公共駐車場事業に影響していますが、ヒアリング対象は、まちなか図書館でしょうか、公共駐車場の担当課でしょうか。
塩瀬委員	まちなか図書館というプロジェクトの見込みに関心があります。同時に駐車場事業にも関心がありますので、それぞれの担当課に来て欲しいと思います。
石原委員長	では、以上で第1回の委員会を終了します。 本日は、ありがとうございました。お疲れ様でした。